

「音によるコミュニケーション」
をテーマに製品展開海外
発注可
メイドイン
ジャパン
量産
対応

防水タイプのレニーメガホン（左上） 安全増防爆スピーカー（右上） 市町村防災行政無線用スピーカー（左下、右下）

業務
内容拡声音響装置を設計・開発
からアフターサービスまで

スピーカーやメガホン、アンプ、防災無線などの拡声音響装置を設計開発から生産、販売、アフターサービスまで一貫して手がける。一部の製品は船舶メーカーや電話会社にてOEM（相手先ブランド生産）供給しているが、95%以上は自社「ノボル」ブランドで販売している。

特に鉄鋼や化学プラントなどの構内放送設備、防災放送で使われるスピーカーや、防水型メガホン、船舶用電子式汽笛などで高いシェアを持つ。商品構成比率はスピーカーが48%と多く、アンプ19%、メガホン15%と続く。



スピーカーの生産現場

強み

特徴を持つ製品開発で
独自路線歩む

拡声音響装置で競合する他社は大手企業がほとんど。猪奥年紀社長が「本来ならアンプなどを含めたシステム販売に向かうところだが、逆に大きい会社が出さない分野に集中しようと思った」と話すように、特徴のある単品開発に集中し、小規模企業が生き残れる道を探ってきた。

その結果、防水や防爆、防塵など耐環境性が求められる特殊用途の製品開発や、取り付け工事、メンテナンスなどの手間がかかる仕事にもいとわず対応し、顧客の信頼を獲得してきた。使用環境、使い方にきめ細かく応じる

独自の製品開発で、自ら市場を創出している。

トップ
シェア

電子式汽笛のトップ企業

電子式の船舶用汽笛でトップシェアを持つ。船舶用汽笛は大型船を中心に蒸気で鳴らすエアース式が主流で、かつては電子式汽笛は使い物にならないという考えがあった。そこで同社は電子式が衰退しないようにと電子式汽笛分野に参入した。

電子式汽笛を全長20m未満の漁船やプレジャーボート向けに供給している。船舶用は水をかぶることも多く、過酷な環境で使用されることが多いが、開発の工夫と実績を積みながら改良を重ねることで克服、今では船舶メーカー、ユーザーから電子式汽笛に対する高い信頼を獲得している。

今後の
展望弱者の戦略を徹底、
世の中に無いと困る存在に

大企業が居並ぶ業界で小規模の同社が勝つためには他社と同じ土俵で戦うのではなく、弱者の戦略を徹底する。猪奥社長は「お客様の欠けている部分を補う役割を果たしたい」とし、機動性を生かして顧客の要望にきめ細かく応じ、世の中に無いと困る存在になることを目指している。そのため開発機能のさらなる強化を目指し、音響、機構設計、電気回路などの技術者採用を進めるほか、社内の技術継承、教育指導体制を充実していく。音の出る分野に関する技術の蓄積を生かし、新たな製品、市場を創造し、成長を図る。

COMPANY PROFILE

株式会社ノボル電機製作所

大阪
27大阪
27ISO 9001
ISO 14001当社の
歴史

「音によるコミュニケーション」を基本コンセプトに創業より70年、スピーカー、アンプ、メガホン、船舶用汽笛などの拡声音響装置の製造販売を行っています。経営理念として「安心される専門メーカー」を掲げ、顧客に安心される製品を提供し続けてきました。

70年にわたり拡声音響の分野で独自の製品を生み出し、社会インフラなど皆様のお役に立ってきました。

代表取締役社長 猪奥 年紀さん



■主な事業内容

拡声音響装置および船舶用汽笛の製造ならびに販売

■主な取引先（納入先）

船舶機材メーカー、建設機械メーカー、放送装置メーカー、防災商社

住所／〒576-0051
交野市倉治3-5-10
TEL／072-891-4602
FAX／072-893-4520
創業／昭和20年10月
設立／昭和25年3月
資本金／6,343万円
従業員／111名

<http://www.noborudenki.co.jp>